



国立研究開発法人

# 水産研究・教育機構

Japan Fisheries Research and Education Agency

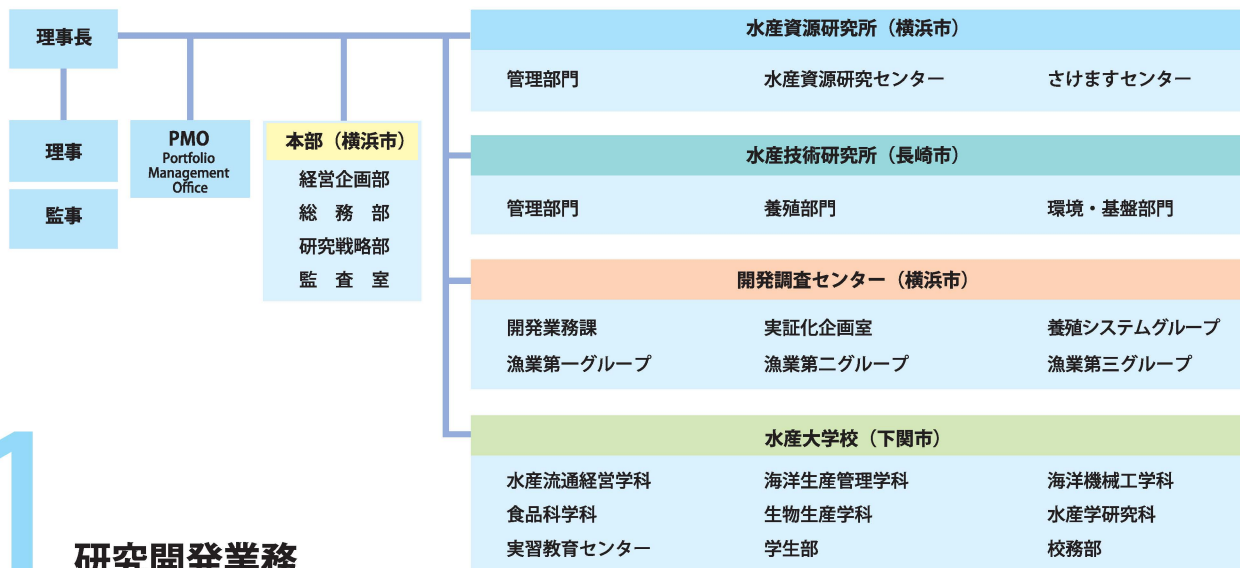
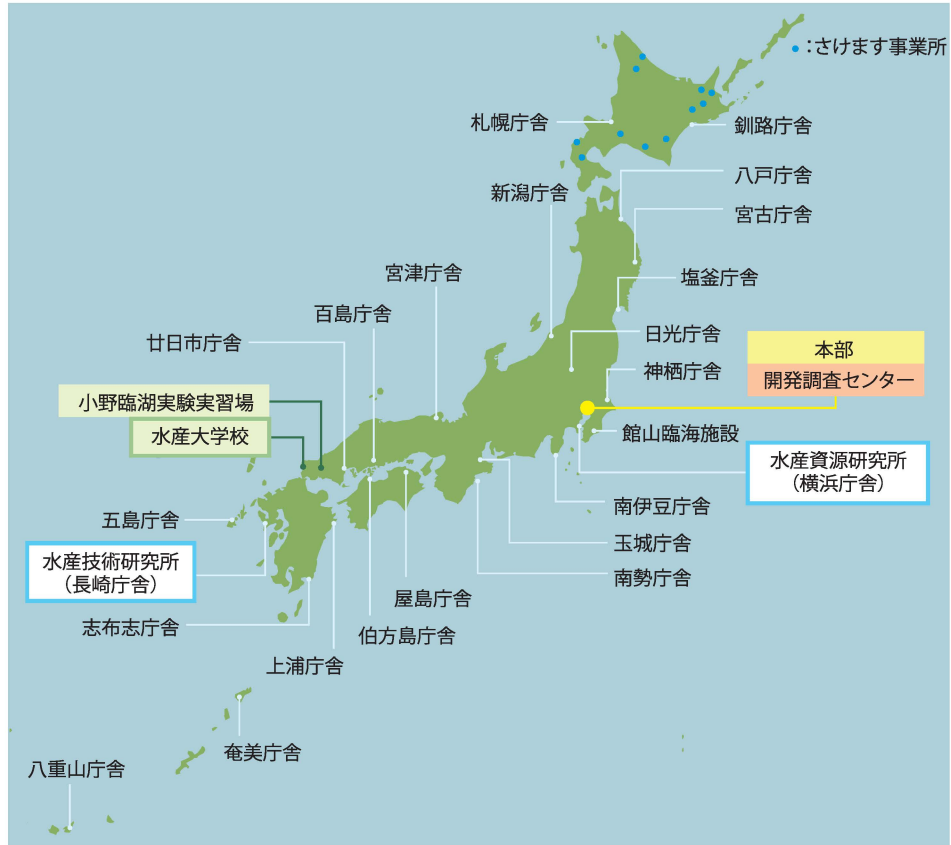
The collage features several elements: chemical structures of nucleotides and nucleic acids (DNA/RNA) in the background; a dark blue hexagon containing three fish embryos; a white petri dish with a single fish; a scientist in a white lab coat working in a laboratory; a modern university building with the text '水産大学校' (University of Fisheries) on its facade; and a group of people in white uniforms on a fishing boat.





理事長 よしの ただし  
芳野 正

当機構は、水産業が抱える課題を解決するため、水産分野における研究開発と人材育成を推進し、その成果を最大化し、社会への還元を進めることで、我が国の水産業を活性化させることを目指しています。



# 1 研究開発業務

## 水産資源研究所

水産資源研究所は、水産資源を適切に管理し、水産業を成長させるための科学的な基礎となる資源評価を行う「水産資源研究センター」と、さけやますの資源確保に取り組む「さけますセンター」の2つの組織に分かれています。漁業調査船を使って海の情報を集め、漁業や市場から得られるデータを活用し、水産資源について専門的な分析や研究を進めています。



水産資源調査



サケのふ化仔魚

ま  
い  
し  
し  
魚  
を  
い  
し  
ま  
す  
も

## 水産技術研究所

水産技術研究所は「養殖部門」と「環境・基盤部門」の2部門に分かれています。

養殖部門では大量生産が難しいクロマグロやウナギ種苗の生産方法を改善する研究をしています。

また、魚のエサの開発や、より養殖に適した性質を持つ魚を育てるための育種、病気についての研究も行っています。

環境・基盤部門は海や川の生き物を増やすために、沿岸や内水面(湖や川など)の生態系を調べる研究、魚が集まる場所を作る研究や AI などの新しい技術を使った水産工学の研究も行っています。また、水産物の付加価値化や安全・安心に関する研究も行っています。



自動給餌装置によるスラリー状飼料の給餌



自動給餌装置で生産したシラスウナギ

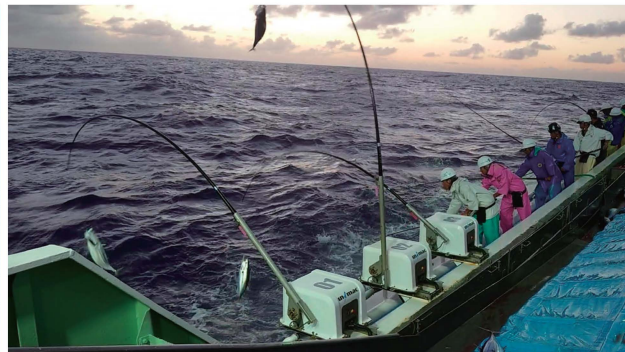
## 開発調査センター

開発調査センターは、海的环境変化や漁業者の減少に対応するため、漁業・養殖業の新しい仕組みを実証しています。

民間漁船による試験操業や漁獲物の販売試験を通じて、経済性や生産性向上の効果を確認し、業界に広めています。



操業中の海外まき網漁船



かつお自動釣り機

# 2

## 人材育成業務

### 水産大学校

水産大学校は、水産に関する知識と技術を学び、研究することで、将来にわたり海を利用できるよう、環境を守ることに配慮しながら、水産業やその関連分野で活躍できる人材を育てています。



練習船での天体観測による船位測定



食品製造学実習

## 漁業調査船

①定係港 ②総トン数 ③最大速度 ④最大搭載人員



ほっこうまる  
北光丸

- ①釧路市(釧路)
- ②902トン
- ③17.3ノット
- ④37名



わかたかまる  
若鷹丸

- ①塩釜市(塩釜)
- ②692トン
- ③13.6ノット
- ④33名



そうようまる  
蒼鷹丸

- ①横浜市(横浜)
- ②892トン
- ③16.5ノット
- ④36名



しゅんようまる  
俊鷹丸

- ①横浜市(横浜)
- ②887トン
- ③17.5ノット
- ④36名



こたかまる  
こたか丸

- ①廿日市市(塩屋)
- ②59トン
- ③13.5ノット
- ④10名



ようこうまる  
陽光丸

- ①長崎市(長崎)
- ②692トン
- ③14.6ノット
- ④33名



たかまる  
たか丸

- ①館山市(館山)
- ②61トン
- ③13.4ノット
- ④15名

## 漁業練習船



こうようまる  
耕洋丸

- ①下関市(下関)
- ②2,352トン
- ③18.4ノット
- ④109名



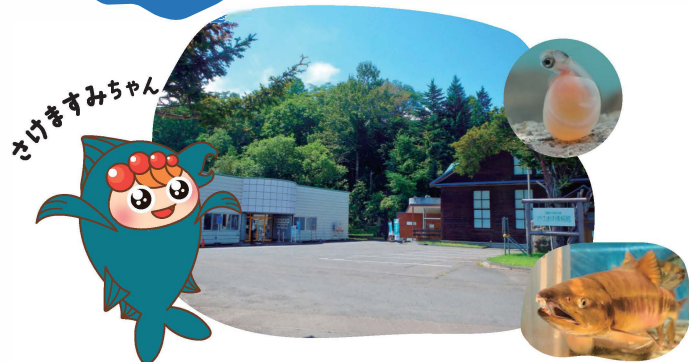
てんようまる  
天鷹丸

- ①下関市(下関)
- ②995トン
- ③13.6ノット
- ④87名

## 広報施設にあそびに来てね

北海道

千歳市の森  
さけます情報館



さけます類のふ化放流事業の歴史やしくみ、調査研究の成果を展示しています。大型水槽や体験型コンテンツで楽しく学べます。

〒066-0068 北海道千歳市蘭越 9 番  
千歳さけます事業所内

さかなと森の観察園

栃木県  
日光市



日光の雄大な自然の中で、マス類の生態を観察できます。森から海に至る生き物の結びつきや、日本の水産に関する情報も展示しています。

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3  
水産研究・教育機構 日光庁舎内



国立研究開発法人  
水産研究・教育機構

〒221-8529 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町 1-1-25 GRC 横浜ベイリサーチパーク 6 階  
TEL : 045-277-0120 (代表) FAX : 045-277-0013

<https://www.fra.go.jp/>

水産研究

検索

